

樽田龍雨 まさたけ ひゆりう 俳人。明治七年四月七日京都生れ、昭和九年十一月
二日没（一八七四—一九三三）。舊姓花井、本名藤太郎。別號雪中庵（十一世）、
雪堂、龍昇。岡田龍吟の養子。齋藤雀志の入門、のち久保田万太郎の
師事。昭和五年雪中庵遷葬。

著書『龍雨句集』（昭和五年十月五日春泥社）、『俳句は斯うして作
る』（昭和八年七月一日回廊書房）、『龍雨俳話』（昭和八年七月五
日寶文館）、『花とみづ』（田島杵葉齋、昭和十一年四月七日日潭火
一刊）、遺稿『猿神樂』（初山洋月齋、昭和十二年七月二十一日不寫
發行所）等。